

平成 24 年度 退院支援部会協議内容等報告書

1. 部会のテーマ

- 「大垣市における平成 25 年度計画相談の対象者について」
- 「計画相談の現状と課題」
- 「サービス等利用計画と居宅介護計画の係わり及び計画相談支援の目指す方向について」

2. 開催スケジュール

- 第 1 回 平成 25 年 1 月 24 日（木）…会場：市役所 3 階合同委員会室
- 第 2 回 平成 25 年 2 月 22 日（金）…会場：市役所 1－4、5 会議室

3. 主な協議内容

【第 1 回】

（市より）

- ・平成 25 年度計画相談の対象者は居宅介護利用者と特別支援学校新卒者を優先とする。年間 420 人を計画相談の対象者と見込んでいる。

（指定特定・障害児相談支援事業所より）

- ・計画相談の依頼が殺到し対応に困っている。市が計画相談依頼書を多数発行する時は、前もって情報提供してほしい。
- ・障がいの状態や支援の必要度によって計画相談の労力の差が大きく、相談支援専門員一人当たりが請け入れられる件数は割り出しにくい。
- ・計画相談がどのような相談にも対応してもらえるという認識がサービス提供事業所にはあるのではないか。
- ・アセスメントの際、本人から正確な情報が得られなかったり、情報量が少ないことがあり、計画立案が困難な場合がある。
- ・計画相談と委託相談との兼ね合いについて。計画相談では対応が困難な場合やより専門的知識を要する場合などは、委託相談支援事業所と連携して対応をしていくことは可能である。

【第 2 回】

（市より）

- ・サービス等利用計画についての事前調査（計画相談事業所用と居宅介護事業所用）の報告。
- ・指定特定・障害児相談支援事業所数が不足しており、サービス等利用計画に最も密接に係わりのある居宅介護事業所に指定に向けて検討をお願いしたい。

- ・サービス等利用計画と居宅介護計画の関連性について計画書をもとに説明。

(指定特定・障害児相談支援始業所、居宅介護事業より)

- ・居宅介護と計画相談は、お互いの情報交換・共有によって利用者の目標に沿った支援が達成されていく。制度を有意義に実施していくために重要なことである。
- ・計画相談の役割に、基本相談がある。幅広い社会資源の知識を持ち、情報提供したり、必要な窓口につなげる事も重要な役割である。
- ・居宅介護事業所としては、計画相談の必要性について理解が深まったことや、居宅介護事業所等との連携が大切であることがわかり、計画相談の指定について今後検討していきたいという意見があった。
- ・委託相談支援事業所として、相談支援事業所連絡会を立ち上げた。計画相談等について情報交換や勉強会を通して研鑽を積むものとしていく予定。

4. 今後の課題等

- ・指定特定・障害児相談支援事業所数の確保
- ・計画相談とサービス提供事業所の連携体制
- ・相談支援事業所連絡会等で課題となることについて今後の部会議題として取りあげていく。